

住宅棟のモデルプラン（大会終了後イメージ）



住宅棟等の考え方

棟 数：住宅棟（板状） 22棟
：住宅棟（超高層タワー） 2棟
：商業棟 1棟

階 数：住宅棟（板状） 14階～17階
：住宅棟（超高層タワー） 50階
：商業棟 4階

総戸数：約6,000戸

※住宅棟（超高層タワー）、商業棟は大会終了後に施工を予定

参考図（大会時イメージ）



※住宅棟（板状）は、大会時、宿泊棟として使用



沿道イメージ



広場イメージ

まちづくりの考え方 （ゾーニング）



※「晴海 まちづくりの考え方」記載「歩行者ルート」「既存公園」に本プランのゾーニングを記載

～多様な人々が交流し快適に暮らせるまちづくり～

～住宅ゾーン～
快適な暮らしを実現する住宅等を導入

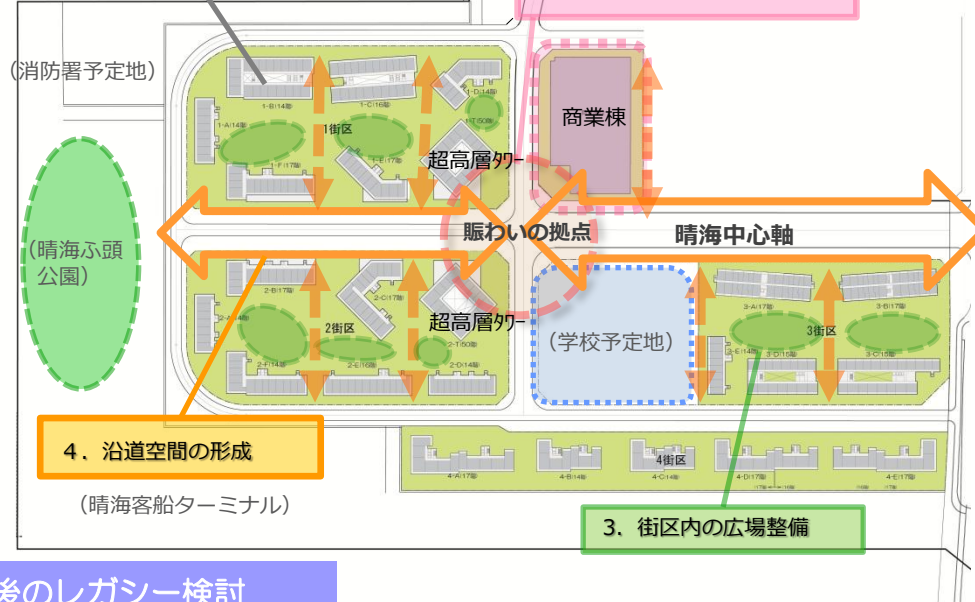
～商業・にぎわいゾーン～
生活便利・にぎわい施設を導入

～教育ゾーン～
地区内の児童のための教育施設を導入

建物配置等の考え方（大会終了後）

1. 様々な住まいに対応する建物配置

2. 地域のにぎわいの空間



4. 沿道空間の形成

(晴海客船ターミナル)

3. 街区内の広場整備

1. 様々な住まいに対応する建物配置

- ・板状と超高層タワーを織り交ぜた建物配置により、様々な住戸に対応が可能

2. 地域のにぎわいの空間

- ・商業棟、学校、超高層タワーを中心軸に集約的に配置して地域のにぎわいを形成

3. 街区内の広場整備

- ・街区内には、緑豊かな広場空間を配置
- ・広場は貫通通路につながり、歩行者空間を確保

4. 沿道空間の形成

- ・晴海中心軸の沿道では、広幅員の道路空間と一体となったにぎわいある沿道空間を形成

今後のレガシー検討

魅力的な住宅プラン

- ・間取、グレード、設備等

環境対策

- ・省エネルギー対策等

交通対策

- ・歩行者動線の確保等

地域活動の支援

- ・地域活動に寄与する空間確保等

防災対策

- ・地域防災対策の充実等

子育て支援

- ・保育サービス等

その他

- ・国際交流、新技術の活用、スポーツ都市東京の実現、BRTの導入
ユニバーサルデザインのまちづくり、水辺空間の活用 等

◆ 知事をトップとする「レガシー委員会」の中で、「事業協力者」と連携を図りながら、オリンピック選手村のレガシーの具体化に取り組む

・事業性を踏まえた住宅や地域の魅力を高める
まちづくりのあり方

・建物に導入する機能や施設 等